

2024年度会計報告

皆さまのお祈り
ご支援を心から
感謝いたします

この一年間も皆さまのお祈りとご支援によって活動を続けることができました。
能登半島での支援活動を1年間継続出来たのも皆様のお支えのおかげです。現在は
熊本コミュニティ支援・能登半島支援・平時の防災啓発活動に取り組んでいます。
引き続き、皆さまのお祈りとご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

収入内訳		支出内訳	
会費	565,000	支援活動	23,420,190
寄付金	27,012,038	防災・啓発活動	3,400,609
助成金等	5810000	寄付金募集	1,370,749
事業収益	475,008	ネットワーク構築	2,410,408
その他収益	33,012	物品販売事業	349,345
		食品販売事業	93,373
		管理部門	2,153,500
合計	33,895,058	合計	33,198,174
前年度繰越金	25,537,785	今年度スタート	26,234,669

九キ災パートナーズのご案内

- 寄付・募金箱の設置
- 備蓄への取り組み
- ボランティアバンクへの登録
- 祈り
- 防災イベントの実施

パートナーズのご登録は
こちらから



パートナーズへの登録に特に条件はありません。上には例として挙げていますので、貴団体で考えて「このようなことで参加したい」という登録も可能です！是非、この愛の働きの輪に加わってください。



振込口座【NPO法人 九州キリスト災害支援センター】

- ・ ゆうちょ銀行／【記号】17420 【番号】81598531
- ・ ゆうちょ銀行 振替口座／01720-5-169579
- ・ 三菱東京UFJ銀行／福岡支店 【普通預金】店番 652 口座番号 2613361

※振込手数料が無料となる払込用紙をお送りしますので、本部事務局までご連絡ください。

九州キリスト災害支援センター 本部事務局

〒814-0155 福岡県福岡市城南区東油山6-15-9（油山シャロームチャペル内）

TEL:092-873-6235 / FAX:092-873-6232
E-mail: kyusyuchristdrc@gmail.com



ホームページQRコード

九キ災

検索



キリストにあってひとつ

NEWS LETTER

2025.8

No.34



能登ヘルプケーキプロジェクト

巻頭言 「微力という力強さ」

「私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。」 ビリビ人への手紙 4章14節

2024年1月3日に九州を出発して始まった能登半島での支援活動も、常駐支援としては2025年の3月末で一区切りとなりました。この間のお祈りやご支援にこころから感謝申し上げます。現在は能登ヘルプや現地の各支援団体と連携しながら必要に応じて活動を続けています。間違いなく長期に関わるであろう地元の支援団体・地域教会のためにも共に祈り続けたいと思います。

能登半島での支援活動を通じて、新たな出会いがたくさん与えられました。その一つひとつが私にとってはとても大きな助けとなり、大きな意味をもつものとなりました。改めて支援活動は一人や一団体などの「1」で完結するものではないのだと感じました。「私たちは微力ではあるが無力ではない。」能登ヘルプのボランティアにきてくださったある高校チームの先生のメッセージが強く印象に残っています。私たちが自分の力では何もできないという原点に立ち返る時にこそ、それぞれの賜物が輝きを放つのです。災害の現場で無力感を感じる時に、どうして良いか途方に暮れる時に、日本中から、世界中から差し出されたこの心によって支援活動が押し出されていくのです。祈りが積まれるということを感じた1年3ヵ月でした。

今年度は「人」をテーマにし、まだ出会っていない人と平時に出会うためのプログラムを検討しています。平時につながっていることが一番の備えと言えるかもしれません。この働きのためにもお祈りください。

本部長 市来 雅伸

本部活動

○講演・セミナー

- ・高岡小学校（石川県）「さいがいのこと、みんなでかんがえよう」
- ・能登ヘルプ・全キ災「能登地震災害支援のための集い」
- ・四キ災防災セミナー（高知県）
- ・知多のぞみキリスト教会防災セミナー（愛知県）
- ・能登ヘルプ「コミュニティ支援セミナー」（オンライン）
- ・益城町安永地区防災セミナー（熊本県）
- ・西南学院大学チャペル講和（福岡県）

それぞれの場所で能登支援の報告や教訓などをお話しさせていただきました。それぞれの地域に置き換えて共に考えることで新たな視点や防災のきっかけが生まれますね。九キ災の防災士と共にみなさまの地域でも取り組んでみませんか？



2025年度通常総会

6月27日に総会が開催され、2024年度の活動報告・決算、2025年度の活動計画・予算が承認されました。今年度はつながる・そなえる・そだてる・つかえるの各プロジェクトの中でも特に「そだてる」に力を入れたいと願っています。また、NPOとしての平時の資金調達のためにもお祈りください。

能登半島支援活動

3月末をもって市来・諸藤は能登ヘルプの常駐での派遣を一区切りとしました。15ヶ月間、石川と九州を往復しながらの働きが守られたことを感謝いたします。今後は必要に応じて現地入りしながら、オンラインでのミーティング参加や情報共有など九州からでもできることに取組んでいきます。能登ヘルプの支援チームは石巻クリスチャンセンターの中橋スティーブンがコーディネーターに立てられています。現地のスタッフ・諸団体のために共に祈りましょう。



熊本コミュニティ支援

○益城町カフェオアシス 5箇所18回 157名

JSU Book Club きなっせ読書会 6回開催 15名

4月で熊本地震から9年を迎えましたが、昨年の11月～今年の6月までに延べ160名を越える参加者があり、お茶会で楽しい憩いの場が開かれています。

5年ぶりの上原令子きなっせコンサート開催、韓国チームとの交流会、また新しい試みとしてみんなでカラオケ大会、Mensカフェなどの取り組みを楽しんでいます。

そのような中でも参加される住民さんは様々な課題を抱えており、相談を受けたりすることがあります。スタッフの中でも常に祈りの必要を感じています。

今後の課題の取り組みの一つとして、益城町社会福祉協議会から講師の方をお呼びして、スタッフ向けのサポーター養成講座を開催し、住民さん方に少しでも寄り添える心を育んでいけるようにと学び会も行っています。

○JSU Book Club きなっせ読書会

「最近落ち着いて本を読んだり、耳を傾けたりする時間がないので新鮮で楽しい！」と毎回の開催を楽しみにしてくださっています。その後のランチ会の美味しい時間も満喫！（矢島揖子”我、弱ければ” 三浦綾子”夕あり朝あり”）



育てるプロジェクト 「能登支援振り返り」

九キ災では育てるプロジェクトの一環として九州のネットワークから次世代4名を能登へ派遣しました。支援活動を通して感じたことや気付いたことなど、若い世代だからこそその視点で意見を出し合うことができました。今後の支援活動に必要な人材、経験を活かしていけるように取り組みを続けていきます。

